



■発行所／(株)びゅ〜すまいる編集舗・みまもり未来プレス編集部
 ■2024年8月15日発行号 ■発行者・編集人／八木澤 晃 ■毎月第3木曜日発行

do.Sukasu

<https://www.dosukasu.co/product>

ドライバーの安全運転をサポート『de.Sukasu DRIVE』アプリをリリース

日々の空間認知能力チェックで運転寿命と健康寿命を延ばす

視覚認知能力の評価やトレーニングを通じて社会課題解決に取り組んでいる do.Sukasu(ドスカス/奈良市橋本町)では、「視覚認知能力ソリューション」として空間認知能力を評価するスマートフォンアプリ『de.Sukasu DRIVE(デスカス ドライブ)』を新たにリリースした。

本サービスでは、車と車線との距離の横ずれ量を記録・分析し空間認知能力を評価する、世界初となる同社独自の特許技術を活用。日々の運転時に10分程度、車内でアプリを使用するだけで、空間認知能力をチェックでき、安全運転をサポートするというもの。

「弊社の研究では、空間認知能力が低い高齢者は、そう

でない高齢者と比較して交通事故のリスクが約3倍高くなるという結果が出ています※1。このため、高齢ドライバーの安全運転支援は喫緊の課題となっています——(同社より)。

一方で、国立長寿医療研究センターの2022年の調査では、「運転を中止した高齢者は継続している高齢者と比較して要介護状態になるリスクが『約8倍』に上昇することが明らかになっている——」とし、高齢者の運転継続は安全面での課題がある一方で、高齢者が安全に運転を続けられることは、単に移動の自由を確保するだけでなく、「健康寿命の延伸にも寄与できると考えています——(同社)」とのこと。

また、特に地方では公共交通機関の維持が困難になりつつあり、高齢者の移動手段確保が深刻な問題となっており、高齢者の免許返納を推進することは、高齢者本人の健康寿命低下や移動の自由の制限につながり、結果として地方財政にも重くのしかかることが懸念される。

「そこで、do.Sukasuは『de.Sukasu DRIVE』の開発・提供を通じて、全国のドライ

バーや地域住民の運転寿命および健康寿命を延ばすことを目指しています。これにより、健康寿命と生活の質の向上だけでなく、介護リスクの低減や医療費の抑制にも貢献し、地方財政の健全性維持にも寄与できると考えています。現在進行中の実証実験です。その結果は今後公開していく予定です——(同社)。



シニアが元気になると 日本が元気になる！

**元気シニア倶楽部
会員募集中!!**

——入会費・年会費なし——

一般社団法人

日本 S 元気シニア総研

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿4-4-5 第3伊藤ビル4階
 tel.050-5533-3100 fax.03-5791-5859 Email. info@genkisenior.com



『ちかく』——『東みよし町繋がり実装化事業』対象機器に指定

`デジタル近居、サービスで高齢者でも住み慣れた場所で安心して暮らせる地域に ——チカク——

NTTドコモが販売を手がける`デジタル近居、サービス『ちかく』（開発/チカク：東京都渋谷区）が、徳島県東みよし町の『東みよし町繋がり実装化事業』の対象機器に指定された。

これにより本サービスを購入した対象世帯に、上限「1万6,500円」の範囲内で、購入費用に2分の1を乗じて得た額（100円未満の端数は切捨て）が、東みよし町より交付される。自治体からの本サービスへの補助は兵庫県たつの市に次ぐ2例目で、町村では全国初の事例とのこと。

本サービスは、テレビに繋ぐ「家型」

の専用端末とスマホアプリを利用し、離れて暮らす1人暮らしの親の在室状況を家族が確認でき、部屋にいればそのまま話しかける感覚で、テレビ電話ですぐに会話ができるというサービス。「まるで近くに暮らしているかのように、お互いをより身近に感じながらも、ほどよい距離感を保つことができるのが特長です——（チカクより）」。

また、アプリ上で「あんしんモード」をオンにすると、親の起床・就寝、在室履歴など生活リズムの変化がわかる生活ログ機能や、事前に設定した時刻を過ぎても親の起床が確認できない

場合、アプリに通知が届く起床未確認通知機能、異変を感じたときに、親が端末を操作することなく、テレビを設置している部屋の様子を確認することができる安否確認電話機能も利用でき、「より安心感を持ちたい子ども世代のニーズにもお応えしています——（同社）」とのこと。



デジタル近居サービス“ちかく”に
徳島県東みよし町が
購入費用を一部補助

<https://ssw.web.docomo.ne.jp/chikaku/>

CYCOO (サイクー) から電動アシスト三輪車が登場

普段のお買い物から配達業まで、幅広い用途で活躍可能 —— CYCOO JAPAN ——

CYCOO JAPAN (サイクー/東京都台東区) では、電動アシスト三輪車『Refna PUT (リフナ プット)』の販売を開始した。

最大走行可能距離は約44Km。大容量バッテリー（36V8.5Ah=24V12.75Ah相当）が搭載されているため、普段使いであれば週1回の充電でも十分に利用できるという。またシャフトドライブ機構が採用されているため、従来の「チェーンが錆びる」という心配

がないメンテナンスフリーも魅力の一つとしている。「普段のお買い物や重たい通勤バッグはもちろん、ご近所へ配達業のある企業様にも最適です——（同社より）」。

市場へODM生産を中心として電動アシスト自転車を約15万台以上供給してから約10年という同社。豊富な経験と実績を活かし、新たに電動アシスト自転車メーカーとして2021年11月に『CYCOO <サイクー>』が誕生

した。「国家公安委員会認定モデルのため、安心・利便性と共に皆様の生活が少し豊かになるような電動アシスト自転車を提供いたします——（同社）」。



<https://www.cycoo-japan.com>

アイデアの**商品化**を推進する 発明事業化促進
身近な**発明展**
身近な**ヒント**

特許料
3億円!

アイデア
募集中

特許料
6千万円!

発明家たちの
登竜門

企業の
新製品
開発に



小さな創造を社会に活かす
一般社団法人 発明学会

<https://www.hatsumei.or.jp/>

情熱の発明商品・発掘プロジェクト 生活にやさしい『なるほどアイテム』を探せ

当コーナーでは、発明学会（東京都新宿区）のご協力をいただき「情熱の発明品」をご紹介します。子どもや高齢者、そして生活全般にやさしい「なるほどアイテム」をピックアップします！掲載された商品に興味のある方は下記までご一報ください。

簡単に中身を出し入れ！楽々リュック&ショルダー一体！！

第85回 『シノッチリュック』



◎クラウドファンディング挑戦ページ
(2024/08/19まで)

<https://camp-fire.jp/projects/view/754780>

の肩ベルト同士をつなぐ胸ベルトと、片側のベルトに取り付けられたバックルです。

使い方は、左右の肩ベルト同士をつなぐ、横方向の胸ベルトでリュックを固定し、左側のバックルを外しま

す。そして右腕を抜くと、横方向の胸ベルトで左右の肩ベルトを固定したことで、長い肩掛け部を備えたベルトとなり、ショルダーバッグスタイルに変化します。片腕がベルトから抜けているため、前抱え状態にも簡単になります。

このように、首を中心に、リュックを回すような動作ができるようになります。これが変幻自在の使い方を可能にしました。

商品は大と小の2サイズ展開。大サイズは17インチ、小サイズは13インチまでのノートパ

「リュックは両手が自由に使えて便利だけど、荷物を取り出す時に肩から下ろすのが面倒」そんな奥様の一言が発明の原動力となり、リュックショルダーの

開発にとりくんだ篠崎禎勇さん。

リュックの良いところは、両肩で背負うためにたくさんさんの荷物を楽に運べる点にあります。しかし、荷物を取り出す

ときは、ベルトから腕を抜き、前にバッグを移動させる手間がかかりま

す。この動作は、荷物を取り出すとき以外にも、電車に乗る際、前抱えスタイルにしたいときも

同じ動作をとります。そのリュックのデメリットとも言える欠点を解決し、もつとこの動作を

カンタンにしたのが、「シノッチリュック」です。構造上の特徴は、左右

ソコンを収納可能にし、収納力も確保しました。篠崎さんは、この「シノッチリュック」を、商品化すべく、現在、クラウドファンディングに挑戦中！今後の売れ行きが楽しみです！

(松野泰明)

無料プレゼント！ 発明ガイドブック

「発明ライフ入門」(希望者は下記まで)

(この商品のお問い合わせは)

一般社団法人 発明学会 発明アドバイザー 松野MP係 まで

東京都新宿区余丁町7番1号 発明学会ビル

☎ 03 (5366) 8811 y-matsuno@hatsumei.or.jp

<https://www.hatsumei.or.jp/>

こちら『元気シニアビジネスアドバイザー!!!』

ブレンモンジュ・林野均の「シニア`萬、遊記」第83回

遅々として進まぬ認知症治療薬の開発

先月のこのコラムでも触れたように、認知症者の増加は喫緊の課題です。

8月1日、厚生労働省の専門部会は、米製薬大手イーライリリーが開発したアルツハイマー病の治療薬「ドナネマブ」の国内での製造販売承認を了承したそうです。エーザイと米バイオジェンの「レカネマブ」に次いで二つ目です。

しかし効能的には、「ドナネマブ」が「レカネマブ」より優れているというわけではなく、ほぼ同じように見えます。対象も軽度認知症と認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）の人で、同じような使い道しかなさそうです。

選択肢が増えたという考え方もあるでしょうが、同じよ

うな薬が複数あってもなあ、というのが正直な感想です。

各製薬会社は認知症治療薬の効能が飛躍的に向上すれば大きな売上に結びつくため、開発には相当な力を入れているとは思いますが、私も含めて現在のシニア層にとっては、自分が歳をとるスピード

と比較して、遅すぎる、という印象は否めません。

このコラムでなん度も言っているように、薬の開発を待つのではなく、まずは認知症にならないように、今有効といわれている方法で脳の活性化を計っていくしか、今出来ることはないようです。



*画像はイメージです

Author / 林野 均 (はやしの ひとし)

プランニング・ブレン・モンジュ代表 / 一般社団法人 日本元気シニア総研研究委員

『元気シニアビジネスアドバイザー』資格を取得後、元気シニア総研研究委員として、シニア向け商品やサービスの取材を「自らのシニア目線」で精力的に行なっている。 <https://planningbrain.com>



デイサービス生活相談員ネットワークの
『生活相談員』講座

ちっちゃいマメをおっきく育て、
夢のある未来を創造します。

株式会社スリービーンズ

<http://3beans.jp>

Let's enjoy your senior life

元気なシニアライフを
応援します！

<https://planningbrain.com>

シニアのためのコンシェルジュ

プランニング・ブレン・モンジュ

tel.090-3682-3310